

ひとり灯の下にて文をひろ
げて、見ぬ世の人を友とす
る、こよなう慰むわざな
り。文は、文選のあはれな
る巻々、白氏の文集、老子
の言葉、南華の篇。

学年

氏名

中一ニニニ

各学年を選んで下さい。

(行書)

課題解説

徒然草

徒然草つれづれぐさの作者は鎌倉時代の吉田兼好。清少納言の『枕草子』、鴨長明の『方丈記』と合わせて日本三大随筆の一つとされる。課題は第13段。文選もんぜん、白氏はくしの文集もんじゅう、老子の言葉、南華なんかの篇へんはいずれも中国の古い書物。

(課題文は「書文協ことば選定会議」選定・創作)